

公益財団法人岡田文化財団助成事業、川越町まちづくり活動団体助成事業

「伊勢湾台風メモリアル」 伊勢湾台風より 67 年 語り部と“愛のピアノ”コンサート



シャーリー・マクレーンさん

語り部が伝える
伊勢湾台風の記憶



石河雅文さん



寺本芳隆さん

“愛のピアノ”コンサート



杉丸太一さん



河村晶子さん

2026. 9. 12 (土) 川越町あいあいホール

午後1時半開場 午後2時開演 終演午後4時(予定)

入場料：無料 (500円カンパにて缶バッチ1個プレゼント)

主催：川越町伊勢湾台風メモリアル実行委員会

後援：川越町、朝日町、社会福祉法人川越町社会福祉協議会、
朝明商工会、三重テレビ放送、三重エフエム放送株式会社、
CCNet、株式会社シー・ティ・ワイ、CTY-FM

協力：四日市市北消防署防災教育センター、第一楽器四日市店

・お問合せ：川越町伊勢湾台風メモリアル実行委員会

TEL：080-5107-0878 (代表 柳川平和)

FAX：059-351-0883

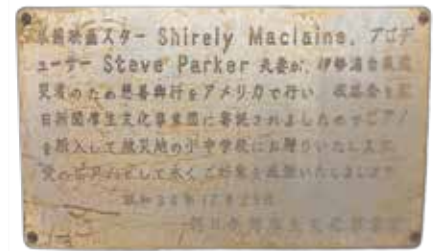
Mail：ai-no-piano@m3.cty-net.ne.jp

☆〈愛のピアノ〉 について

- *「愛のピアノ」は昭和34年にアメリカのアカデミー賞女優シャーリー・マクレーンさんが、伊勢湾台風で被害に遭った東海地区の小中学校に47台送った→東海地区の47の小中学校に送った、ものです。その1台が川越中学校（旧明和中学校）にあり、中学校では合唱コンクールの時のピアノ伴奏として調律して現在も使われています。
- *このピアノは、2016年「夏休みの自由研究」で当時の生徒(中学3年生)が川越中学校にあるのを発見しました。
- *このピアノが今も川越中学校にあることは、中学校の在校生も卒業生も町民にもほとんど知られていません。
- *今回は、伊勢湾台風の被害の状況を語り部の方に語ってもらうと共に、“愛のピアノ”の演奏会を開催して、後世に伝えるメモリアルとしたいと思います。
- *これを機会に伊勢湾台風の記憶を継承していく研修等を開催していきます。そして私たち実行委員会は、この貴重な財産(宝物)を川越町の文化財として大切に残していきたいと思っています。



贈られた”愛のピアノ”



ピアノの右側にある銘板



シャーリー・マクレーンさん



朝日新聞厚生文化事業団
昭和34年度事業報告書



〈伊勢湾台風の記憶 語り部〉



石河雅文さん

被災当時は11歳、亀崎新田在住、9人家族（両親、祖父母、兄弟3人、叔父2人）。台風で兄弟2人と祖父母が亡くなった。天井を破って屋根の上に逃げた。屋根に乗って当新田まで流されていた。



寺本芳隆さん

被災当時は7歳、豊田一色在住4人家族（両親、弟）。水が来たので公民館に避難して翌日、自宅に帰ってきたら、家の中に家具が散乱していて泥まるけだった。

〈“愛のピアノ”コンサート ピアニスト〉



杉丸太一さん

川越町出身
2016年NYカーネギーホール公演音セラピー『太極音セラピー』、新しい音律『太極律』創始者
この新しい音が世界を救うと確信し、毎朝、楽団メンバーと共に奏上を続けている



河村晶子さん

川越町出身。愛知県立芸術大学卒業後、パリ・エコール・ノルマル音楽院において高等ディプロムを取得。気軽にクラシックを楽しめるコンサートや、国内外のソリストとの共演も好評を得ている。マレーシア在住。

イベントに向けた取り組みは、地元ケーブルテレビCCNetにて、下記日程で放送予定です。

番組名：ウィークリーかわごえ・あさひ・たど 放送日：8月31日（月）～9月6日（日）

※放送時間はホームページをご確認ください。